

令和 4 年度新人戦本大会 2 回戦 VS 東海大菅生 (ベスト 16 決定戦)

62 – 60 WIN

東京都 6 位の東海大菅生を相手に接戦を制し、ベスト 16 入り！

1Q から大崎は、リバウンドとルーズボールに対する意識が強く、気迫で相手を戸惑わせる。しかし、2Q に入り、相手にタフショット、こちらのファウルもあり徐々に点差を広げられる。4 分で 13–25 と 12 点のリードを許す。しかし、ここからが大崎 Spartans の真骨頂。とにかく粘る、シュートは何度も嫌われるが、そのたびにリバウンド・ルーズで流れを渡すことなく、こちらのペースに持ち込む。1 点ずつ、ゆっくりと返していく。残り 1 分を切り 22–25 と 3 点差まで追いつく。相手には 5 分以上点を許さない。結局、2Q が終わり 25–27 と 2 点ビハインドだが、泥臭いプレーが目立った前半。ハーフタイムに「4Q の勝負になる」、という話を繰り返し、3Q に臨む。このクォーターもお互いに点が入らない我慢の展開が続く。しかし、#8 が立て続けにファウルをもらい、確実にフリースローを沈める。このクォーター後半になると、相手のターンオーバーから得点を重ね、残り 3 分には逆転、41–45 とリードで終盤を迎える。いよいよ最終クォーター、ここまで入っていなかった 3pt が決まりはじめ、3 連続 3pt を含む 5 本の 3pt を沈める。残り 2 分を切り、相手の粘りも凄まじく、連続 3pt とこちらのミスからの速攻で残り、30 秒を切り 2 点差の展開。残り 0.1 秒で、痛恨の #7 のファウルで相手にフリースローを与える。しかし、これが 2 本とも外れ、試合終了。大崎の選手たちの集中力 & 作戦遂行力には、脱帽の一試合でした。見事、ベスト 16 入りを果たしました！！

大崎
PRIDE
&
BRAND
Best16 入り

都立大崎高校 Spartans	62 – 60	東海大菅生高校
1Q.13 点 2Q.12 点 3Q.20 点 4Q.17 点	TOTAL	1Q.13 点 2Q.14 点 3Q.14 点 4Q.19 点



本大会 3 回戦 VS 日本学園 (ベスト 8 決定戦)

40-62 LOSE

攻守に一枚うわてだった日本学園に敗戦。

「勢い」…昨日、東海大菅生を破った大崎の選手は、緊張の中にも「やってやる」という強い意志が見て取れた。まさに「勢い」を感じる 1Q であった。昨日同様に「ディフェンスゲームに持ち込む」という意図通り、粘り強いディフェンスをしようとする。しかし、その「勢い」が「空回り」となって試合に表れる。相手の連携に半歩遅れる場面が多くファウルを重ね、1Qこそ 12-14 と接戦だったが、2Q は攻撃も相手に見切られ、終わってみれば 18-34 と 16 点差をつけられてしまう。ロースコアのゲームだけに、この点差は重いものとなってしまった。

前日の試合では、支配していたリバウンドも奪うことができず、流れを断ち切ることができない。3Q も日本学園の規律あるディフェンスを破ることができず、反対に相手は要所要所でしっかりと得点を決めきってくる。3Q 終了時、26-49 とさらに点差を広げられた。ただ、最後まであきらめず、相手に跳ね返されながらも奮闘した。結局 40-62 と敗れた。しかし、堂々のベスト 16 入り。春の関東予選、そしてベスト 8 入り、悲願の関東大会進出のため、多くの課題と収穫の多い新人戦であった。生徒たちの素晴らしい「遂行力」を誇りに思います。

最後に、昨年 12 月～1 月まで本校は体育館が改修工事のため使うことができませんでした。多くの学校や保護者の方々の協力の下、体育館を貸していただいたり、合同練習をして下さったり、感謝しかありません。そのお陰で力を発揮することが出来たと確信しております。ありがとうございました。

都立大崎高校 Spartans	40-62	日本学園高校
1Q.12 点 2Q.6 点 3Q.8 点 4Q.14 点	TOTAL	1Q.14 点 2Q.20 点 3Q.15 点 4Q.13 点